

あとがき



(2021)

戦中(昭和 18 年)生まれで、もはや後期高齢者！ 物忘れも物ともせず、何とかこの忙しない世の中で生き延びている。今や世は、我らの後輩「団塊世代」も加わっての本格的な老人社会がやってきた。やれ断舎利だ・終活だ・家仕舞だ・遺言とやら…と世間は喧しい。

この度この冊子を纏めた事で、お陰様で自分自身の背中の大きな荷物の半分くらいは、下ろす事が出来たと思っている。

逆に編集途中で気が付いたのは、パソコンの記憶媒体に未だ残されている膨大なデータ（俳句、写真、日記・手紙・・）の事が気掛かりだ。とは言ってもこのまま、はいさよならと言う訳にはいかない、記憶も衰え・目も衰え始めたが、整理だけはちゃんとしておこうと、この年になって、大型(23.8 インチ)のパソコンも新たに買い求めた…まだまだ先は長い！

## 筆者略歴

1943年 下関市生まれ

伊佐小・長府小、小倉富野小、小倉付属小、和木小  
和木中、萩明経中、下関西高、福岡修猷館高・・を経て  
九州大学工学部建築学科卒

1966年 宇部興産（株）に入社

宇部興産本社建築課（1級建築士事務所）にて建築設計監理  
(本社事務所・各支店・寮・社宅・保養所・研修所・研究所・  
技術センター・ゴルフ場施設・ホテル・病院・テレビ局・・・)

〒755-0067 宇部市小串 91-5 (0836-35-2663) 在住